

平成23年度 吉野作造記念館 事業報告書

特定非営利活動法人 古川学人

※事業参加者数は入館者とは一致しません。

事業名	実施内容	事業参加者数	実施日	予算額	決算額
企画展 「吉野作造と震災・復興 -関東大震災と 人々の生きる希望-」	展示構成 Ⅰ 関東大震災 被害と救援 Ⅱ 復興に向けた東北人 Ⅲ 東日本大震災の被害と復興 展示解説 3回実施(8/27、9/11、9/25) 発表者 永井康雄(山形大学教授) 前館長) 佐藤壽一(仙台市博物館 前館長) 大川真(東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 助教) 石川裕人(劇作家・演出家) 佐藤大介(NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク) 大野大輔(NHK仙台支局ディレクター) パネリスト 青地憲司 映画監督 佐々木純 志津川高校教諭(被災地支援) 司会 大川真(当館 副館長)	1315	8/13~ 11/13		
新規 シンポジウム 「建築・文化を 再生するということ -旧有備館の修復を中心に-」	司会 野村俊一(東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 助教) 大川真(東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 助教)	40	8/20		
新規 「私たちの道程 -未来を歩むために-」	石川裕人(劇作家・演出家) 佐藤大介(NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク) 大野大輔(NHK仙台支局ディレクター)	15	9/10		
新規 映画上映会 「宮城からの報告 -子ども・学校・地域」	パネリスト 青地憲司 映画監督 佐々木純 志津川高校教諭(被災地支援) 司会 大川真(当館 副館長)	20	12/10		
大正100周年 企画展 「大正時代の女性と 吉野作造」	展示構成 Ⅰ 大正時代の女性 Ⅱ 吉野作造と女性 Ⅲ 現代社会の女性 展示解説 6回実施 講師 大川真(当館副館長) 全6回講座 ①江戸から明治の女性 ②明治初めの「家庭(home)」をめぐるすれ違い (樋口一葉「十三夜を読む」) ③女性による人格尊重の要求(イブセン「人形の家」を読む) ④大正期の婦人論争～生活と性との問題 ⑤吉野作造の婦人論① ⑥吉野作造の婦人論②	611	12/3、 1/8、 1/14、1/29、 2/18、 2/25、 3/3、 3/10、 3/17、3/24	¥750,000	¥909,800
「近代日本の女性と 吉野作造」 ※企画展との連動事業	講師 大川真(当館副館長) 講師 大川真(当館副館長)	39	2/11		
講演会 「佐々木千佳氏講演会」	講師 佐々木千佳氏(東北大学非常勤講師) 演題 「ルネッサンスの女性たち -家庭における役割と母性の表象」	39	2/11		
吉野研究第8号発行	発行部数 600部発行 主な掲載内容 読売・吉野作造賞講演録 吉野ネットワーク交流事業人材育成研修会			¥250,000	¥270,000
展示目録	展示目録作成に向け、データ作成中。			¥200,000	¥0
資料収集・保存・ 情報検索サービス	収蔵資料検索サービスを開始。 資料管理・保存に関する消耗品を購入。 毎日、温湿度計による記録を実施。			¥400,000	¥546,813
題 彰 型 事 業 合 計 ①		2176		¥1,600,000	¥1,726,613
出前講座 招館事業	後援 大崎市教育委員会 大崎市内の中学校へ事業案内を発送。			¥50,000	¥0
大崎子ども シヤチノコファクト	大崎タイムス社へご挨拶と企画説明をしました。 研修会全体のテーマ「社会の再生と政治の構想力」 研修会の内容 9/2 オリエンテーション 講演会 荻部直氏 9/3 東日本大震災・石巻視察 講義 ティツク・ステファウエルンズ氏 9/4 公開シンポジウム 講師 8名 猪木武徳氏(国際日本文化研究センター所長) 荻部直氏(東京大学法学部研究科教授) 清水唯一朗氏(慶應義塾大学総合政策学部准教授) 小川原正道氏(慶応大学法学部准教授) 奈良岡聰智氏(京都大学法学部准教授) ティツク・ステファウエルンズ氏(オースロ大学准教授) 手嶋泰伸氏(東北大学大学院非常勤) 学生 20名(東北大学8名、京都大学2名、慶應義塾大学10名)	114	9/2~9/4	¥1,000,000	¥1,221,672
吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会 (第5回)	贈賞式へ出席し、講演依頼と動画記録撮影。 当館での記念講演会 講師 上山隆大氏(上智大学経済学部教授) 演題 「グローバル時代における大学の行方を問う」 受賞作 「アカデミックス・キヤベタリスを超えて -アメリカの大学と科学研究の現在」 講演録 『吉野作造研究』へ掲載をする。 発行部数 1,000部 全12ページ 主な内容 大正100年にちなんだ内容、これからの事業のお知らせ、震災復興 事業の報告、実施事業の報告など 配布場所 施設・大学・研究機関・吉野先生を記念する会 全体のイメージを大正時代風にリニューアル ユーザーを使った動画配信	44	11/12	¥450,000	¥399,921
読売・吉野作造賞 受賞者講演会 及び贈賞式出席			7/14		
記念館だより発行 (第20号)			3/31	¥150,000	¥100,700
イカ-ネットサービスの 充実		158	通年	¥300,000	¥64,575
発信型合計②		158		¥2,000,000	¥1,786,868
市民交流事業	チャリティーイベント(震災復興事業) チャリティーバザー、100人のメッセージ、よしの市、チャリティーコンサート、だかし販売 売上は大崎市へ寄付いたしました。 サマーイベント ヘアゴム・風車・水鉄砲などの工作 おたのしみ劇場(子育て応援団による寸劇、絵本の読み聞かせ)、 七夕飾り作り	1360	5/4、5/5	¥400,000	¥217,064
グッズ開発事業	日常的に手軽に買える吉野作造グッズを製作。 (クリアファイル、一筆箋、シタール、しおり) 大崎市へ展示室映像機器修繕箇所の説明をし修繕依頼書を提出。 故障した場合に備えて、プロジェクトカーを購入。	289	7月30日	¥100,000	¥136,397
常設展示室 映像機器更新				¥300,000	¥29,360
活用型合計③		1649		¥800,000	¥445,546
事業予備費④(YOSHINOサポートターの募集)				¥200,000	¥18,620
事業費合計①+②+③+④		3983		¥4,600,000	¥3,977,647

平成23年度総入館者5,061名